

第97期
中間事業報告書

(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)

豊田工機株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

さて、当社第97期上半期（平成15年4月1日から平成15年9月30日まで）の営業の概況につきましてご報告申しあげます。

当上半期のわが国経済は、デフレが緩やかに進行し個人消費がおおむね横ばいのなか、米国やアジア諸国向け輸出が堅調に推移し、また企業の調整努力もあって企業収益の改善が続くとともに、設備投資が増加して、全体として景気の持ち直しの動きが見られる状況となりました。

工作機械業界におきましては、国内では自動車業界からの堅調な受注に加えて電気・一般機械分野からの受注が回復し、また好調なアジア諸国に加えて米国等における設備投資も回復基調となり、内外ともに受注は前年同期に比べ増加いたしました。

自動車業界におきましては、国内では小型・軽の乗用車が減少する一方で普通乗用車やトラック等が増加し、輸出も米国向けが減るなかで西欧向けが増えるなど、内外への販売はともに前年同期並みとなり、国内生産も前年同期並みとなりました。

当社は、積極的な生産販売活動を一層グローバルに展開するため、工作機械事業においては、中華人民共和国に工作機械の販売・サービス会社「豊田工機（大連）有限公司」を設立し、また三井精機工業株式会社と包括的業務提携を締結して、マシニングセンターの共同開発を進めるとともに欧州の販売会社を統合いたしました。

さらに、自動車部品事業においても、中華人民共和国にパワーステアリング用ポンプなどの自動車部品を生産する「豊田工機 汽車部品（天津）有限公司」およびタイ王国にGKNドライブライン社（英国）との合弁で等速ジョイントを生産・販売する「GKNドライブライン トヨタ マニュファクチュアリング株式会社」と「GKN トヨタ（タイランド）株式会社」を設立いたしました。また、4輪駆動部品の拡大のため、株式会社ボッシュ オートモーティブ システムからトルセン（トルク感応型駆動力配分機構）事業部門の買取りをいたしました。

当上半期における、工作機械とメカトロニクス商品などを合わせた工作機械等の受注高につきましては、内外の設備投資回復を受けて、243億円と前年同期（215億円）に比べ13.0%の増加となりました。

売上高につきましては、工作機械等の受注増加などにより工作機械等が263億円（対前年同期比19.3%増）に、また自動車部品は531億円（対前年同期比3.4%増）となり、売上高合計では794億円と前年同期（734億円）に比べ8.2%の増加となりました。

利益につきましては、売上の増加と生産の合理化や経費の節減などの諸活動への取組みにより、経常利益は15億1千万円となり、前年同期（13億9千1百万円）に比べ8.5%の増加となり、当上半期の中間純利益は9億8千万円となりました。

当期の中間配当金につきましては、さる10月28日開催の取締役

役会におきまして、1株につき5円とし、11月26日を支払開始日とすることに決めさせていただきましたので、よろしくご了承賜りたいと存じます。

設備投資につきましては、主に自動車部品部門で電動式パワーステアリングの生産用設備や製品切替えのための投資を行ってまいりました結果、当上半期の設備投資額は56億円となりました。

また、主に第4回無担保転換社債の残高198億円の9月満期償還に充当するため、平成15年6月に第3回無担保普通社債200億円を発行いたしました。

中間連結決算の状況につきましては、連結売上高は1,032億円(対前年同期比8.8%増)、連結中間純利益は15億3千2百万円(対前年同期比54.9%減)となりました。

今後の経済の見通しにつきましては、米国の景気回復が期待され、わが国においても企業収益の改善が進んで景気は持ち直しが見込まれる一方で、為替のドル安円高基調が懸念され、デフレもまだ続くものと予想されることから、先行きに対する不安が残っている状況にあると思われまます。

工作機械業界におきましては、アジア諸国などの需要の堅調さに加えて米国および国内の設備投資需要の回復の継続が期待されますものの、景気の先行きに不安要素も多いところから、一層の需要の回復にはなお慎重な見方を要するものと見られます。

また、自動車業界におきましても、海外現地生産の拡大による完成車輸出の減少傾向は続き、国内販売も現状からの大幅な回復は見込めないことから、国内生産は横ばいに推移するものと思われまます。

このような経営環境のなか、当社は、世界の人々に新しい価値を提供して、お客様を含めた社会全体の人々の幸福に貢献できる企業であり続けるために、「お客様と社会への限りない貢献を目指して」のスローガンのもと、魅力ある世界No.1商品づくり、コスト競争力とグローバルな販売・サービス力の強化および品質を最重視したものづくりと業務プロセスの改革に、豊田工機グループ一丸となって取り組んでまいります。

また、地球環境保護の取組みを積極的に推進していくとともに企業倫理の徹底を図って、国際社会から信頼される企業市民として、企業に課せられた社会的責任を果たしてまいる所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年11月

取締役会長 大西 匡

取締役社長 湯野川 孝夫

貸借対照表 (平成15年9月30日現在)

[百万円未満切り捨て]

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流 動 資 産	72,047	流 動 負 債	41,984
現 金 預 金	2,337	支 払 手 形	1,206
受 取 手 形	1,726	買 掛 金	22,669
売 掛 金	37,902	未 払 金	5,714
有 価 証 券	4,701	未 払 費 用	7,748
製 品	463	未 払 法 人 税 等	672
原 材 料	685	前 受 金	4
仕 掛 品	9,612	預 り 金	2,928
貯 蔵 品	1,053	品 質 保 証 引 当 金	441
前 渡 金	2,979	従 業 員 預 り 金	599
繰 延 税 金 資 産	3,202	固 定 負 債	64,026
短 期 貸 付 金	3,137	社 債	50,000
未 収 入 金	3,753	長 期 借 入 金	8,000
その他の流動資産	594	退 職 給 付 引 当 金	6,026
貸 倒 引 当 金	△ 103	負 債 計	106,010
固 定 資 産	139,912		
有 形 固 定 資 産	79,630	(資本の部)	
建 物	12,242	資 本 金	24,805
構 築 物	869	資 本 剰 余 金	30,114
機 械 装 置	28,073	資 本 準 備 金	30,114
車 両 運 搬 具	122	利 益 剰 余 金	48,117
工 具 器 具 備 品	2,020	利 益 準 備 金	6,201
土 地	31,824	任 意 積 立 金	39,156
建 設 仮 勘 定	4,477	特 別 償 却 準 備 金	25
無 形 固 定 資 産	303	圧 縮 記 帳 積 立 金	117
投 資 其 他 の 資 産	59,978	圧 縮 特 別 勘 定 積 立 金	13
投 資 有 価 証 券	23,880	別 途 積 立 金	39,000
子 会 社 株 式 ・ 出 資 金	32,774	中 間 未 処 分 利 益	2,759
出 資 金	545	株 式 等 評 価 差 額 金	4,669
長 期 貸 付 金	200	自 己 株 式	△ 1,758
繰 延 税 金 資 産	1,944	資 本 計	105,949
其 他 の 投 資	667		
貸 倒 引 当 金	△ 35		
合 計	211,960	合 計	211,960

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 121,616百万円

損益計算書 (平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)

[百万円未満切り捨て]

科 目	金 額	
	百万円	百万円
(経常損益の部)		
営業損益の部		
営業収益		
売上高		79,477
営業費用		
売上原価	70,133	
販売費及び一般管理費	8,023	78,156
営業利益		1,320
営業外損益の部		
営業外収益		
受取利息	32	
受取配当金	619	
その他の営業外収益	461	1,113
営業外費用		
支払利息	351	
その他の営業外費用	572	923
経常利益		1,510
税引前中間純利益		1,510
法人税、住民税及び事業税		630
法人税等調整額		△ 100
中間純利益		980
前期繰越利益		1,779
中間未処分利益		2,759

(注) 1株当たりの中間純利益

7円56銭

中間配当について

平成15年10月28日開催の取締役会におきまして、平成15年9月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載の株主または登録質権者に対して行う中間配当につき、次のとおり決議いたしました。

1. 中間配当金 1株につき 5円
2. 支払請求権の効力発生日 および支払開始日 平成15年11月26日

連結貸借対照表 (平成15年9月30日現在)

[百万円未満切り捨て]

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流 動 資 産	91,308	流 動 負 債	55,391
現金及び預金	6,956	支払手形及び買掛金	26,781
受取手形及び売掛金	48,616	短期借入金	4,896
有価証券	4,701	未払費用	13,675
たな卸資産	22,645	未払法人税等	1,093
繰延税金資産	4,477	品質保証引当金	625
その他	4,165	従業員預り金	629
貸倒引当金	△ 255	その他	7,689
固 定 資 産	147,290	固 定 負 債	67,045
有形固定資産	109,981	社 債	50,000
建物及び構築物	20,871	長期借入金	8,000
機械装置及び運搬具	41,627	繰延税金負債	761
工具器具備品	3,249	退職給付引当金	8,284
土地	34,191	負債計	122,437
建設仮勘定	10,040		
無形固定資産	8,433	(少数株主持分)	
連結調整勘定	8,074	少数株主持分	4,116
その他	358		
投資その他の資産	28,875	(資本の部)	
投資有価証券	25,082	資 本 金	24,805
長期貸付金	272	資 本 剰 余 金	30,114
繰延税金資産	2,095	利 益 剰 余 金	53,493
その他	1,582	其他有価証券評価差額金	5,269
貸倒引当金	△ 157	為替換算調整勘定	119
		自 己 株 式	△ 1,758
		資 本 計	112,044
合 計	238,598	合 計	238,598

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 155,145百万円

連結損益計算書 (平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)

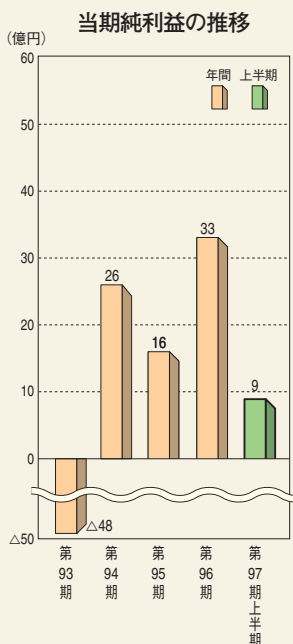
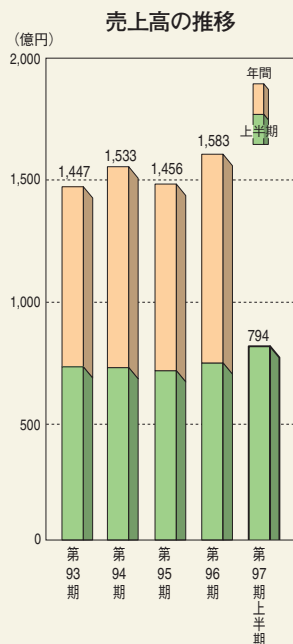
[百万円未満切り捨て]

科 目	金 額
	百万円
売 上 高	103,213
売 上 原 価	88,038
売 上 総 利 益	15,175
販売費及び一般管理費	12,126
営 業 利 益	3,048
営 業 外 収 益	982
受取利息及び配当金	241
その他の営業外収益	740
営 業 外 費 用	1,298
支 払 利 息	409
その他の営業外費用	889
経 常 利 益	2,732
税金等調整前中間純利益	2,732
法人税、住民税及び事業税	1,200
法人税等調整額	△ 80
少数株主利益(減算△)	△ 79
中 間 純 利 益	1,532

(注) 1株当たりの中間純利益

11円82銭

単独決算の業績の推移



株式の状況 (平成15年9月30日現在)

1. 株式の総数

会社が発行する株式の総数	198,550,000株
発行済株式総数	132,939,520株
議決権総数	128,233個

2. 株主数

11,977名

3. 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	議決権比率
トヨタ自動車株式会社	31,402千株	24.5%
株式会社豊田自動織機	9,201	7.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	7,455	5.8
株式会社デンソー	7,383	5.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,978	3.1
アイシン精機株式会社	3,611	2.8
日本生命保険相互会社	3,607	2.8
株式会社UFJ銀行	3,077	2.4
株式会社三井住友銀行	2,395	1.9
あいおい損害保険株式会社	2,135	1.7

(注) 議決権比率については、商法第211条ノ2第5項の規定に基づく議決権総数により算出しております。

会社の概要 (平成15年9月30日現在)

1. 設立 昭和16年5月
2. 資本金 24,805百万円
3. 従業員数 4,112名
4. 主要な事業内容

下記製品の製造および販売

工作機械	— 研削盤 (円筒研削盤、クランクライン研削盤、カムライン研削盤、専用研削盤等)
	— 専用機 (トランスファーマシン、単体専用機、TOPセンター等)
	— マシニングセンター(マシニングセンター、超高速金型加工機、FMS等)
メカトロニクス製品他	— 超精密加工機、フローフォーミングマシン他
	— 制御情報システムおよび機器
自動車部品	— 素形材加工システム、レーザーシステム、計測システム他
	— ステアリング (パワーステアリング等)
	— ドライブライン (ドライブシャフト、4WD用カップリング、プロペラシャフト等)
	— 電子部品他 (ECU、センサー等)

5. 本社・工場・営業所・海外拠点

本社：愛知県刈谷市朝日町1丁目1番地

工場：本社、東刈谷、岡崎、花園、幸田、田戸岬

営業所：東京支社 他国内7営業所

海外法人：工作機械関係 (8)、自動車部品関係 (11)

海外拠点：アメリカ (4)、ブラジル (1)、
フランス (1)、イギリス (2)、ドイツ (1)、
シンガポール (1)、タイ (1)、中国 (1)

役員 (平成15年9月30日現在)

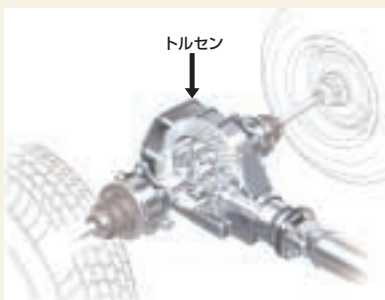
取締役会長	大西 匡	取締役	中野 次郎
取締役社長	湯野川 孝夫	取締役	平田 穂
専務取締役	久保 政徳	取締役	山本 正司
専務取締役	横山 元彦	取締役	安部 隆太郎
専務取締役	阿部 忠之	取締役	柴田 拓男
常務取締役	中村 一美	取締役	廣川 利夫
常務取締役	林 保明	取締役	御子柴 茂太
常務取締役	杉田 和彦	取締役	貝嶋 博幸
常務取締役	山蔭 哲郎		
常務取締役	鈴木 隆昭	常勤監査役	渋谷 健雄
取締役	米田 孝夫	常勤監査役	杉山 拓央
取締役	西塚 勝幸	監査役	奥田 碩

会計監査人 中央青山監査法人

製品紹介

ドライブレイン部品に新たなブランド“トルセン”

トルセンは特殊なギヤ機構により、エンジンの駆動力をタイヤに最適に配分し、自動車の安定走行に大きな威力を発揮します。スポーツ系乗用車やSUV系4WD車を中心に、トヨタやVW（アウディ）

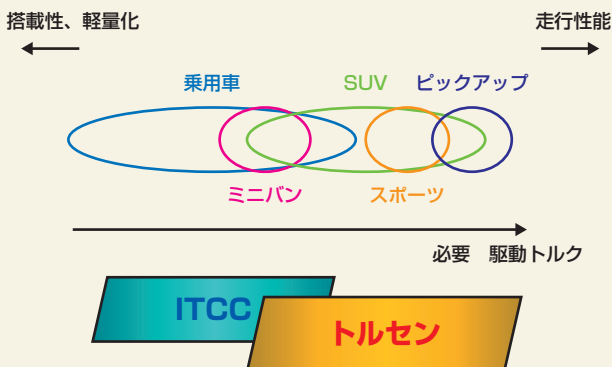


など世界の自動車メーカーに採用いただいております。オンリーワン商品として確固たるブランドを築いています。

当社は、株式会社ボッシュ オートモーティブ システムから、そのトルセン事業部門を、平成15年8月31日をもって譲受け、当社が事業運営にあたることとなりました。

当社のドライブレイン事業が、このトルセン事業を統合することにより、当社の戦略商品で既に圧倒的な世界シェアをもつ「ITCC（電子制御スタンバイ4WD方式）」と「トルセン（トルク感応型フルタイム4WD方式）」の両方を併せ持つこととなり、小型から大型のあらゆる4WD車に対応できる強力な商品ラインアップが実現。グローバルなビジネスをさらに飛躍させる基盤を獲得したことになります。

◆トルセンとITCCであらゆる4WD車両をカバー



株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
配当金受領株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施するときの 中間配当金受領株主確定日は、 9月30日であります。

株式の名義書換

名義書換代理人	UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都江東区東砂七丁目10番11号 (〒137-8081) UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 (03) 5683-5111(代表)

同取次所	UFJ信託銀行株式会社全国各支店 野村證券株式会社本店および 全国各支店
------	--

公告掲載新聞 中日新聞※

上場証券取引所 東京、名古屋および大阪の各証券
取引所

(注) 大阪証券取引所につきましては、平成15年10月に上
場廃止を申請したため、平成15年12月に上場廃止と
なる予定であります。

本社所在地 愛知県刈谷市朝日町1丁目1番地
(〒448-8652)
電話 (0566) 25-5111

インターネット・ホームページアドレス <http://www.toyoda-kouki.co.jp/>

※決算公告につきましては、当社ホームページ上に貸借対
照表および損益計算書を掲載しております。

『お客様と社会への
限りない貢献を目指して』

- お客様第一
- 品質最重視
- 変革とクイックレスポンス

TOYODA